

町会活動に関するアンケート（町会長対象）

<概要版>

（1）アンケートの目的

本調査は、町会の抱える課題や地域の特性等を把握し、今後の持続可能な運営を支援する具体的な施策を検討することを目的とする。

（2）調査の対象

町会長（107名）

（3）調査期間

令和7年6月26日～令和7年9月10日

（4）回収結果

対象数	有効回収数	有効回収率
107	101	94.4%

目次

1	地区ごとの回答数について	[p. 1]
2	会員規模・種別について	
3	過去 10 年間の会員の増減について	[p. 2]
4	会長の年代について	[p. 3]
5	会長の職業について	
6	役員の年齢構成について	[p. 4]
7	執行部の困りごとについて	
8	町会の組織運営上の課題について	[p. 5]
9	未加入者への加入の呼びかけについて	[p. 6]
10	会員へのお知らせや情報共有手段について	[p. 7]
11	町会運営のデジタル化の状況について	
12	町会運営のデジタル化の課題について	[p. 8]
13	町会運営においてデジタル化したいものについて	
14	特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について	[p. 9]
15	イベント活動の課題について	[p. 10]
16	特に重要な地域課題について	[p. 11]
17	町会の役割・存在意義について	[p. 15]
18	これからの町会について	[p. 19]
19	祭礼文化継承の課題について	[p. 20]
20	行政からの依頼の負担感について	[p. 21]
21	行政からの依頼で負担感の大きいものについて	
22	町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について	[p. 22]
23	町会加入促進について行政がすべき支援や協力について	[p. 23]

アンケート結果

1 地区ごとの回答数について

107 町会のうち、101 町会から回答があり、回答率は 94.4%となっている。

	町会数	回答数	回答率
麴町出張所地区	21	21	100.0%
富士見地区	8	8	100.0%
神保町地区	12	12	100.0%
神田公園地区	20	18	90.0%
万世橋地区	21	20	95.2%
神田駅東地区	9	7	77.8%
岩本町東神田地区	8	7	87.5%
秋葉原東部地区	8	8	100.0%
総計	107	101	94.4%

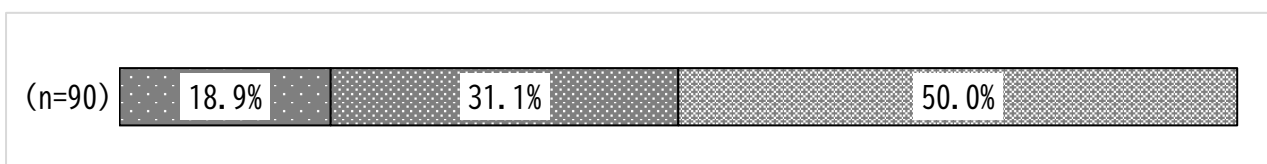
2 会員規模・種別について（問2）

会員規模は、会員数「100 以上」（50.0%）が最も高く、次いで「50 以上 100 未満」（31.1%）、「50 未満」（18.9%）となっている。

会員種別は、法人会員の割合「50%以上」（36.7%）が最も高く、次いで「20%以上 50%未満」（35.6%）となっている。

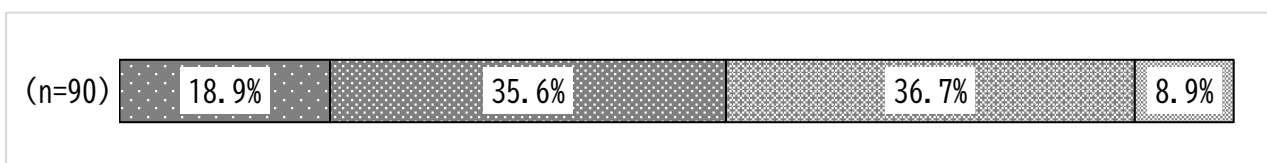
会員規模 会員数 ※加入単位（個人・世帯）は問わない

50 未満	50 以上 100 未満	100 以上



会員種別 法人会員の割合

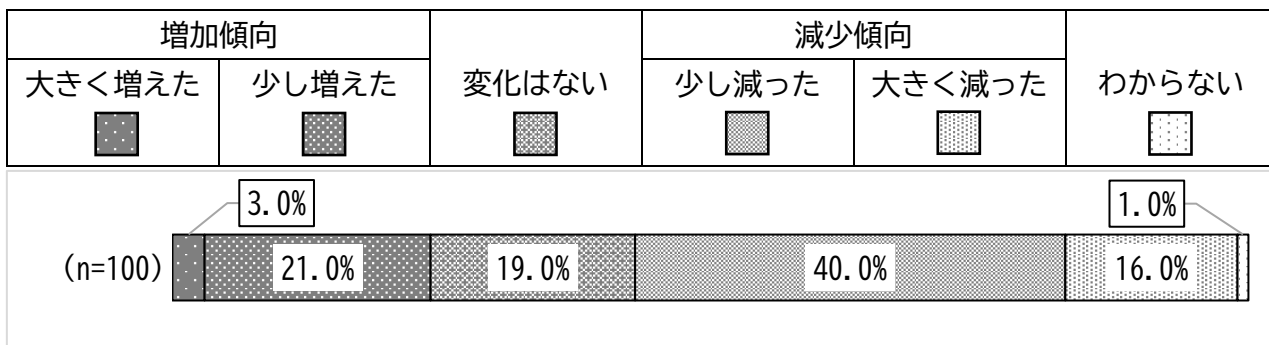
20%未満	20%以上 50%未満	50%以上	法人会員なし



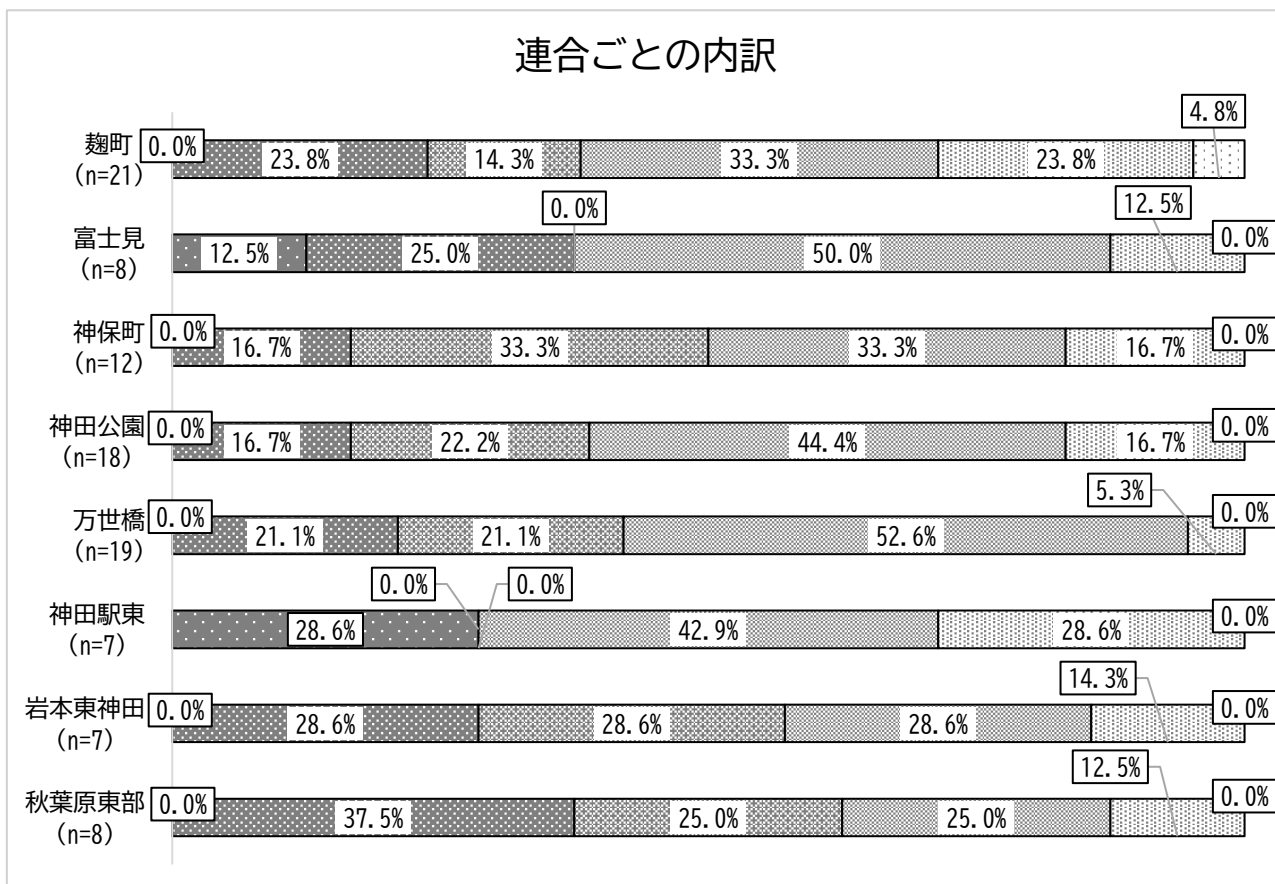
3 過去10年間の会員の増減について（問5）

「少し減った」（40.0％）と「大きく減った」（16.0％）を合わせた『減少傾向』（56.0％）が5割台半ばを超えとなっている。一方で、「大きく増えた」（3.0％）と「少し増えた」（21.0％）を合わせた『増加傾向』（24.0％）は2割強となっている。

●過去10年間の会員の増減についてあてはまるものを選んでください。（○は1つ）



連合ごとの内訳では、神田駅東地区は「少し減った」（42.9％）と「大きく減った」（28.6％）を合わせた『減少傾向』（71.5％）が7割を超えている。また、麴町出張所地区、富士見地区、神保町地区、神田公園地区、万世橋地区、神田駅東地区の6つの地区では、『減少傾向』が5割以上となっている。

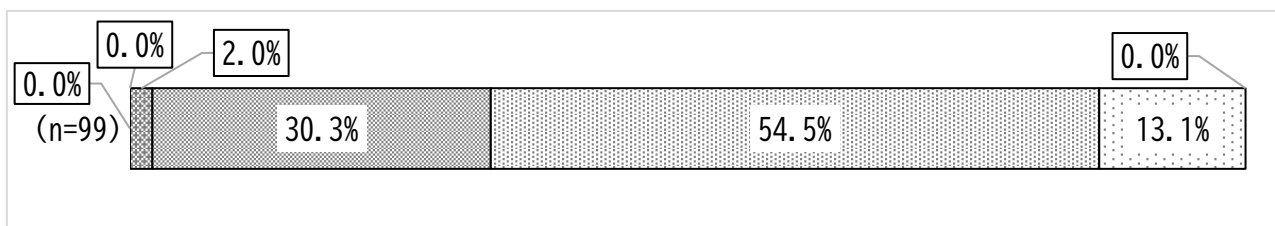


4 会長の年代について（問9）

「70歳代」（54.5%）が最も高く、次いで「60歳代」（30.3%）、「80歳代」（13.1%）、「50歳代」（2.0%）と続いている。また、「39歳以下」（0.0%）、「40歳代」（0.0%）、「90歳以上」（0.0%）の回答はなかった。

●会長の年代について教えてください。（○は1つ）

39歳以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

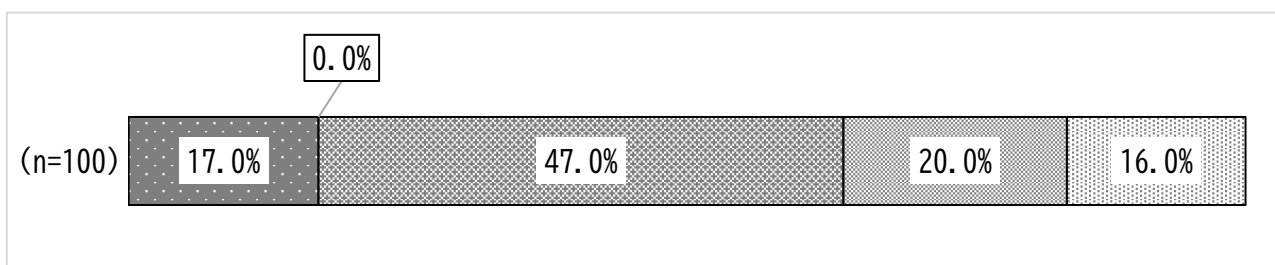


5 会長の職業について（問10）

「自営」（47.0%）が最も高く、次いで「無職」（20.0%）、「会社員・団体職員」（17.0%）、「その他」（16.0%）と続いている。また、「公務員」（0.0%）の回答はなかった。

●会長の現在の職業を教えてください。（○は1つ）

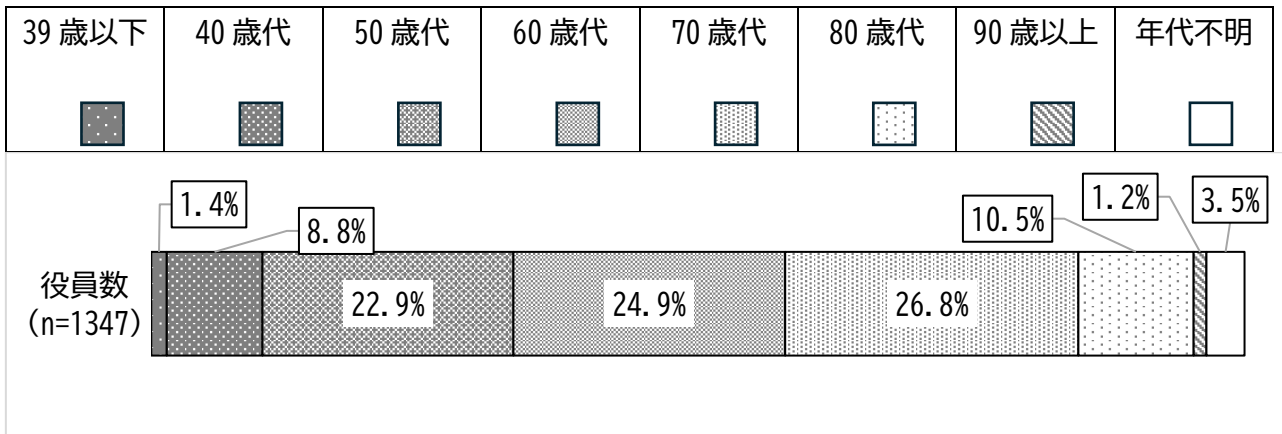
会社員・ 団体職員	公務員	自営	無職	その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



6 役員の年齢構成について（問 13）

「70 歳代」（26.8%）が最も高く、次いで、「60 歳代」（24.9%）、「50 歳代」（22.9%）と続いている。

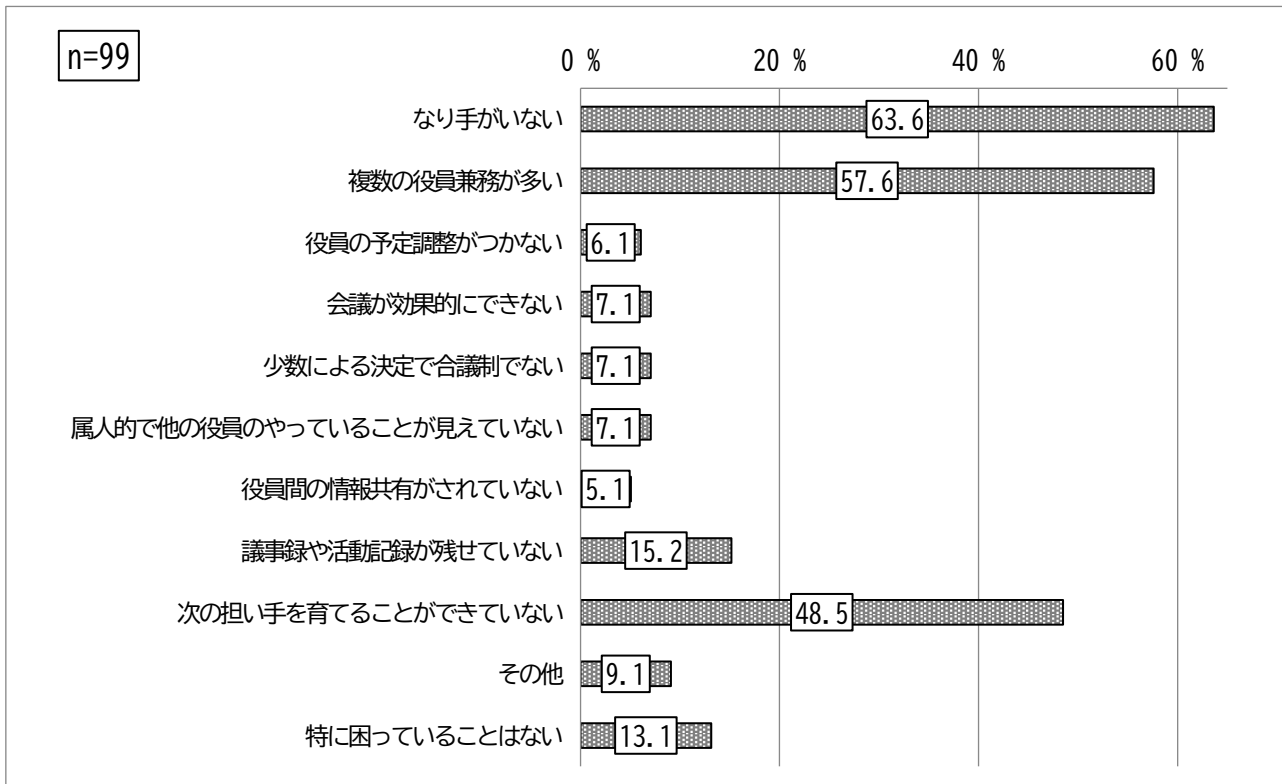
●役員の年齢についてご記入ください。



7 執行部の困りごとについて（問 16）

「なり手がいない」（63.6%）が6割強と最も高く、次いで「複数の役員兼務が多い」（57.6%）、「次の担い手を育てることができていない」（48.5%）となっている。

●執行部に関してお困りのことはありますか。（○はいくつでも）



8 町会の組織運営上の課題について（問 19）

「役員の高齢化・なり手不足」（73.0%）が7割強と最も高く、次いで「運営の担い手固定化」（35.0%）、「加入しても町会運営に協力する人が少ない」（29.0%）、「町会の必要性、良さなどが知られていない」（29.0%）となっている。

●町会の組織運営上の課題にはどのようなことがありますか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

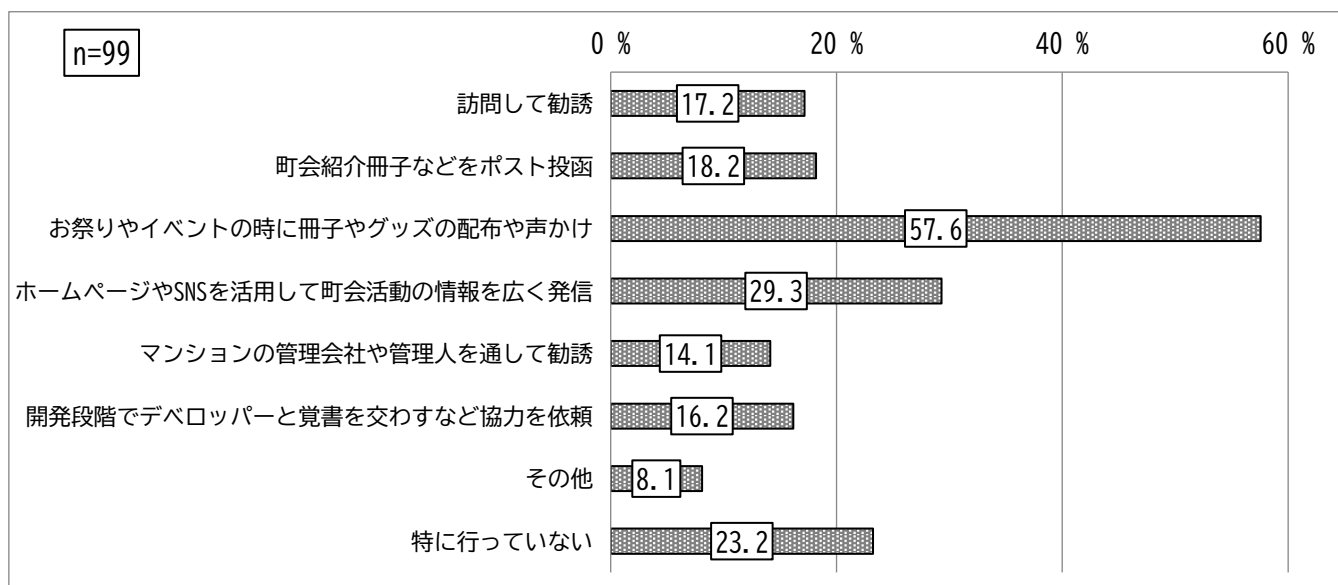


9 未加入者への加入の呼びかけについて（問 20、問 20-1）

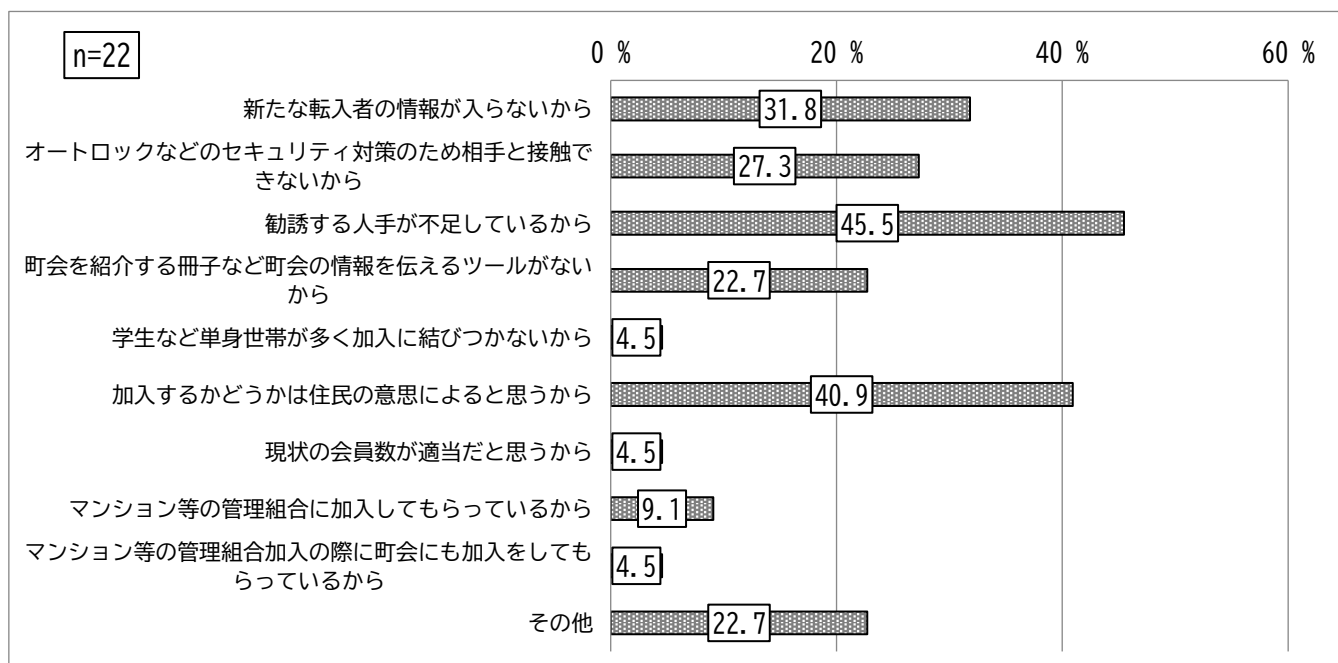
未加入者の呼びかけとして行っていることについては、「お祭りやイベントの時に冊子やグッズの配布や声かけ」（57.6%）が最も高く、次いで「ホームページや SNS を活用して町会活動の情報を広く発信」（29.3%）となっている。

未加入者へ呼びかけを行っていない理由としては、「勧誘する人手が不足しているから」（45.5%）が最も高く、「加入するかどうかは住民の意思によると思うから」（40.9%）、「新たな転入者の情報が入らないから」（31.8%）と続いている。

●未加入者への加入の呼びかけとして、どのようなことを行っていますか。（○はいくつでも）



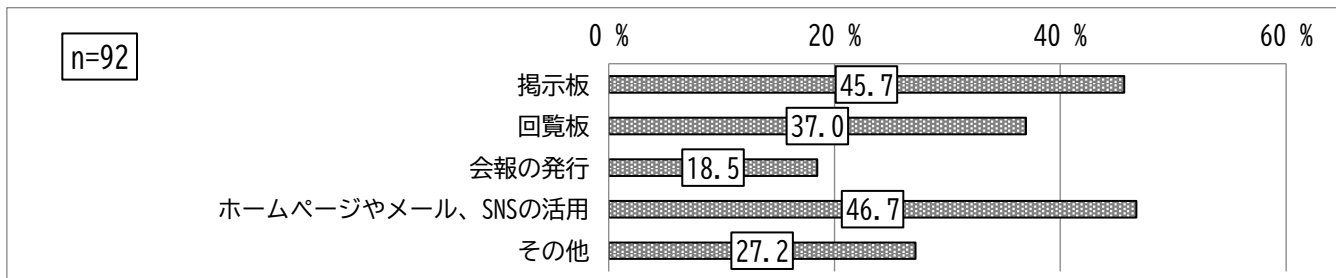
●未加入者への呼びかけを行っていない理由は何ですか。（○はいくつでも）



10 会員へのお知らせや情報共有手段について（問 21）

「ホームページやメール、SNS の活用」（46.7%）が最も高く、次いで「掲示板」（45.7%）、回覧板（37.0%）となっている。

●会員へのお知らせや情報共有はどのように行っていますか。（○はいくつでも）



11 町会運営のデジタル化の状況について（問 23）

「執行部内などで、メールやLINE、SNSなどで情報共有している」（60.2%）が約6割と最も高く、次いで「会計にExcelなどの表計算ソフトを使っている」（40.8%）、「町会のホームページを開設している」（29.6%）となっている。

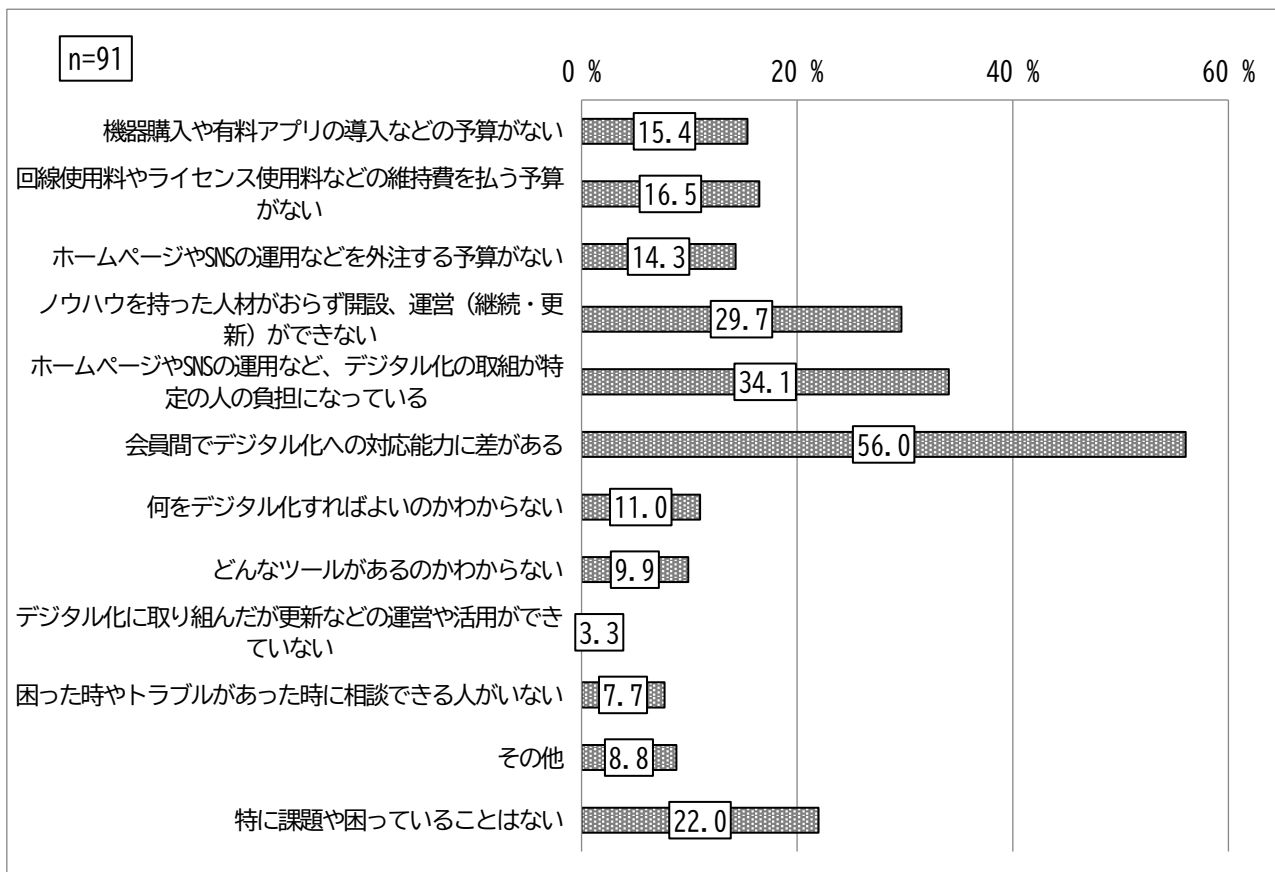
●町会運営において、どのようなデジタル化に取り組んでいますか。（○はいくつでも）



12 町会運営のデジタル化の課題について（問 24）

「会員間でデジタル化への対応能力に差がある」(56.0%) が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「ホームページやSNSの運用など、デジタル化の取組が特定の人の負担になっている」(34.1%)、「ノウハウを持った人材がおらず、開設、運営（継続・更新）ができない」(29.7%)となっている。

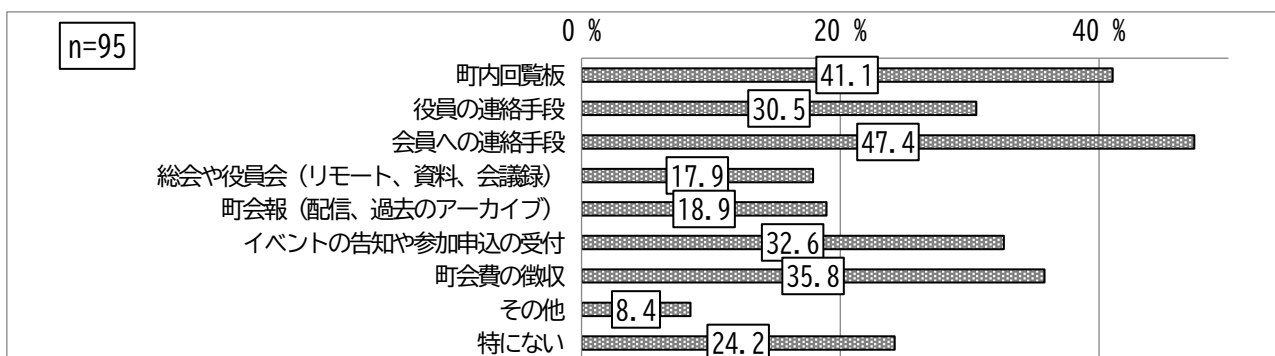
●町会運営におけるデジタル化について課題やお困りのことはありますか。（○はいくつでも）



13 町会運営においてデジタル化したいものについて（問 25）

「会員への連絡手段」(47.4%) が4割台半ばを超えと最も高くなっている。次いで「町内回覧板」(41.1%)、「町会費の徴収」(35.8%)、「イベントの告知や参加申込の受付」(32.6%)となっている。

●町会運営においてデジタル化したいものはありますか。（○はいくつでも）

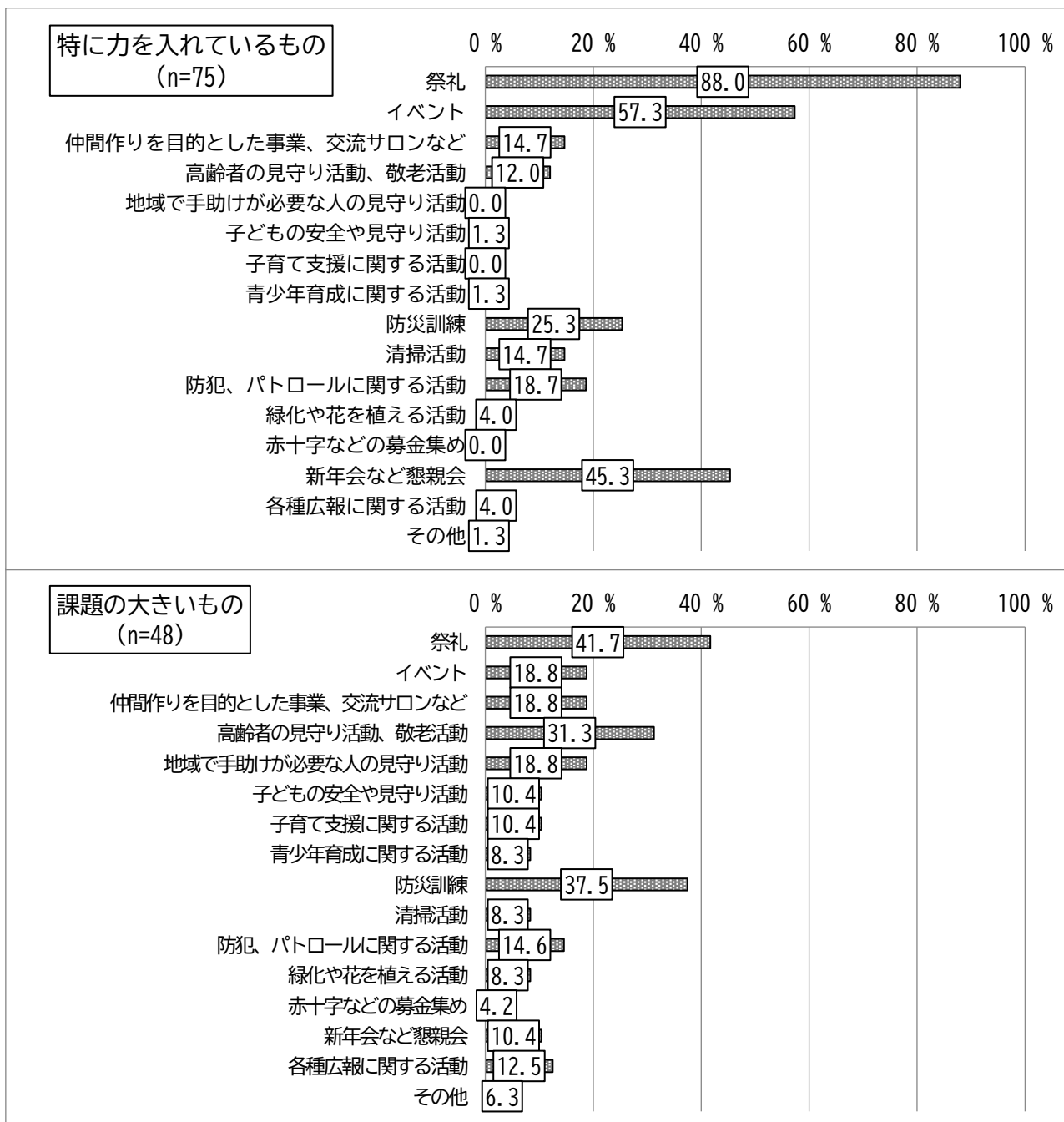


14 特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について（問26）

『特に力を入れているもの』は、「祭礼」（88.0%）が8割台半ば超えと最も高く、次いで「イベント」（57.3%）、「新年会など懇親会」（45.3%）となっている。

『課題の大きいもの』は、「祭礼」（41.7%）が最も高く、次いで「防災訓練」（37.5%）、「高齢者の見守り活動、敬老活動」（31.3%）となっている。

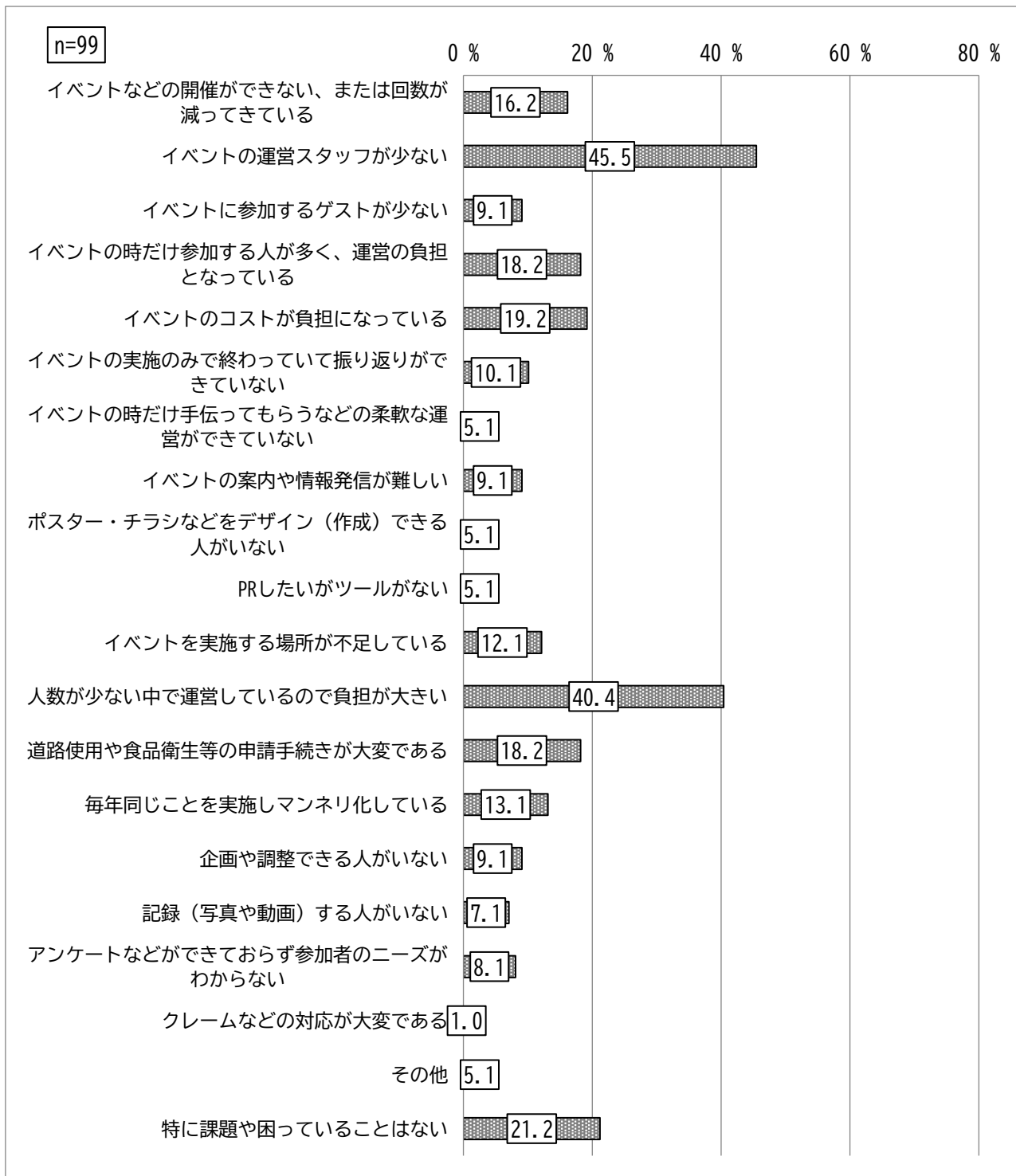
●次の各項目の活動について、「特に力を入れているもの」と「課題の大きいもの」をそれぞれ3つ程度選び○をつけてください。



15 イベント活動の課題について（問 27）

「イベントの運営スタッフが少ない」（45.5%）が4割台半ばを超えと最も高く、次いで「人数が少ない中で運営しているので負担が大きい」（40.4%）、「特に課題や困っていることはない」（21.2%）、「イベントのコストが負担になっている」（19.2%）と続いている。

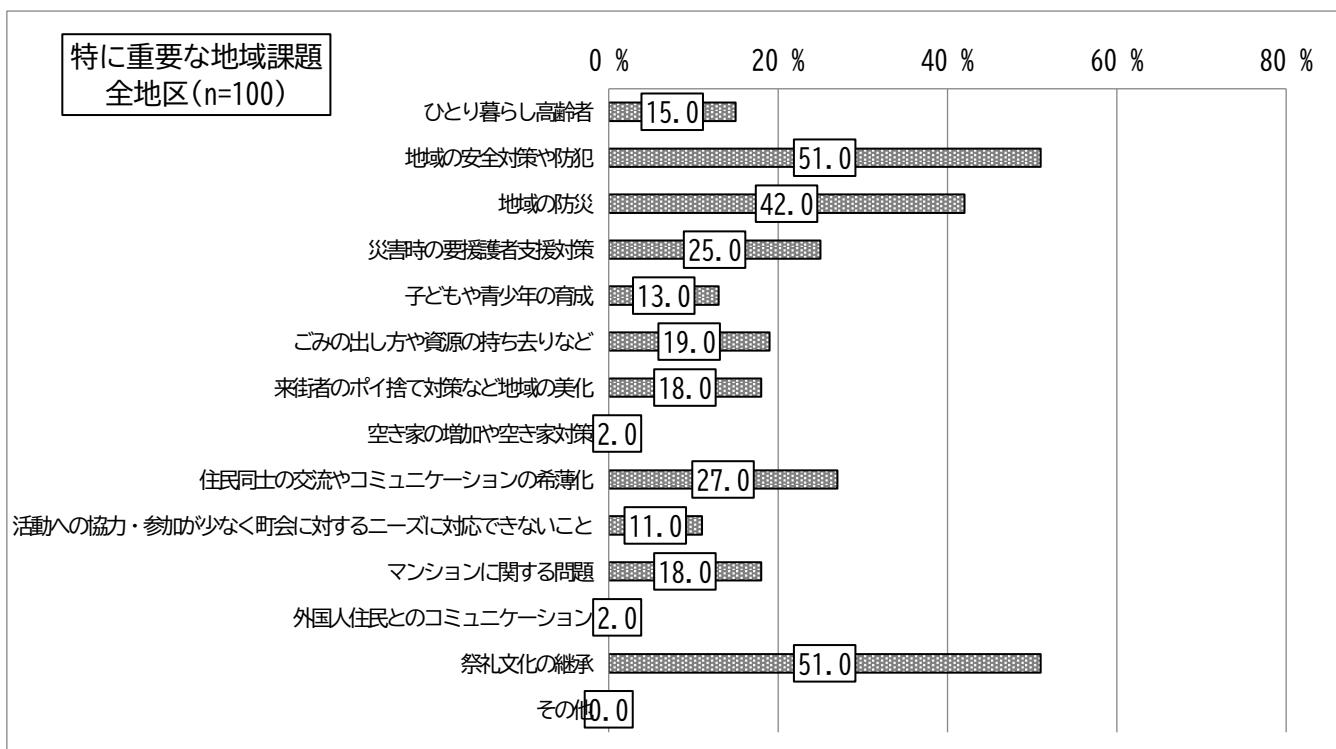
●町会のイベントや活動などの実施について、課題やお困りごとはありますか。（○はいくつでも）



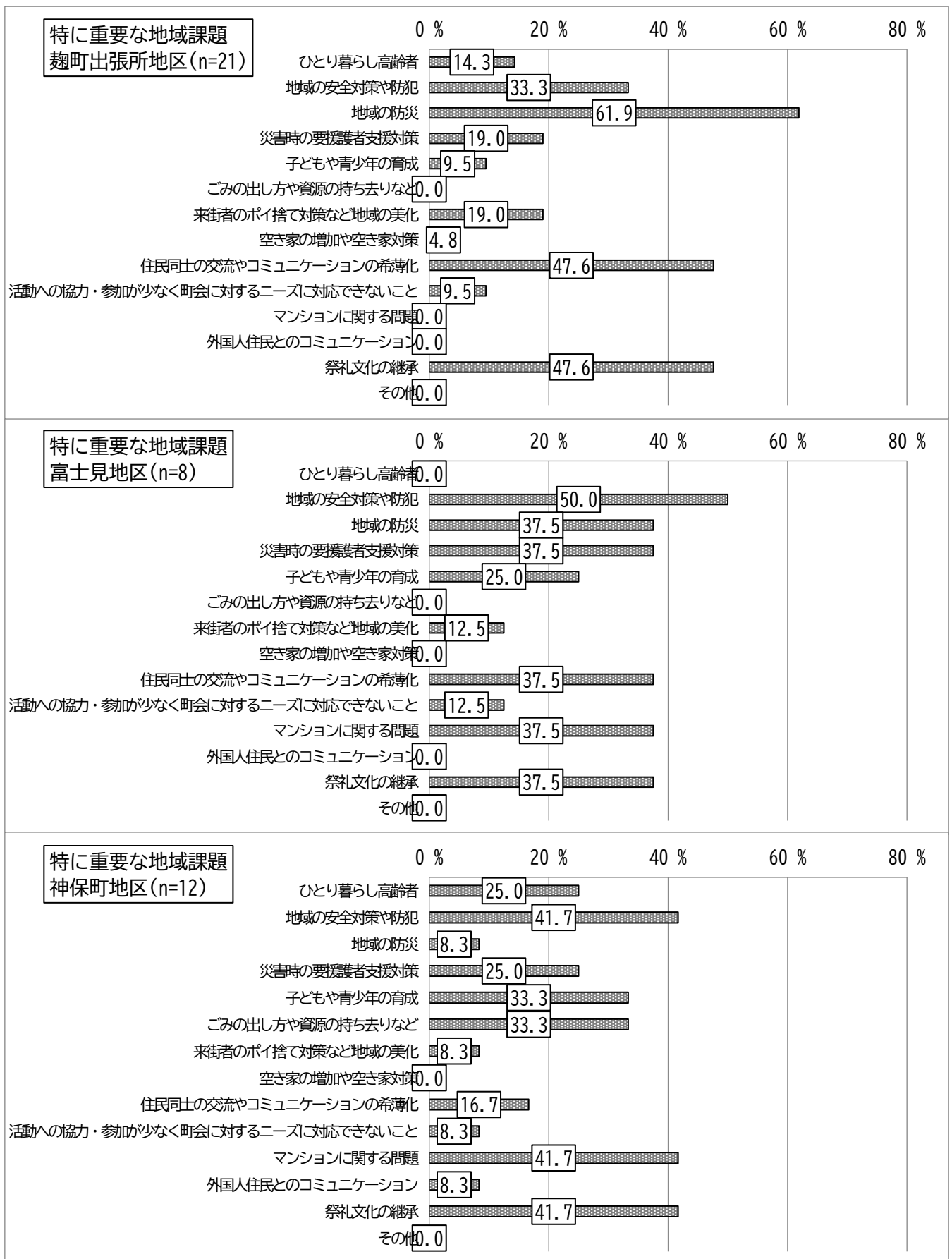
16 特に重要な地域課題について（問 30）

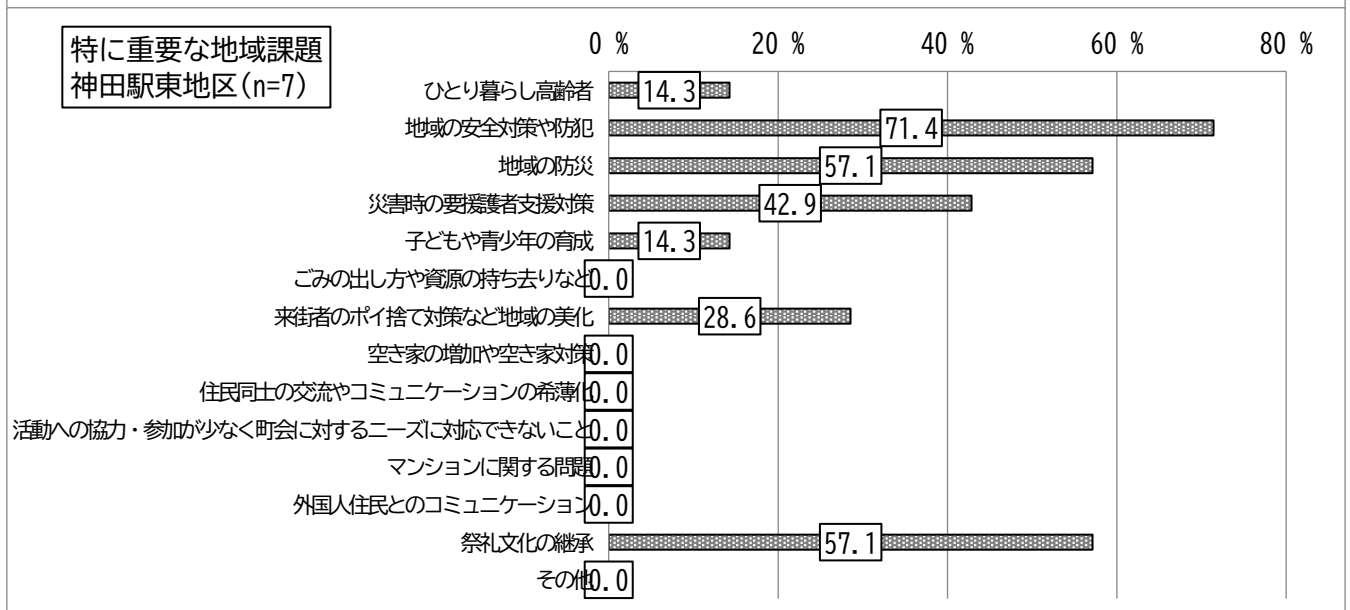
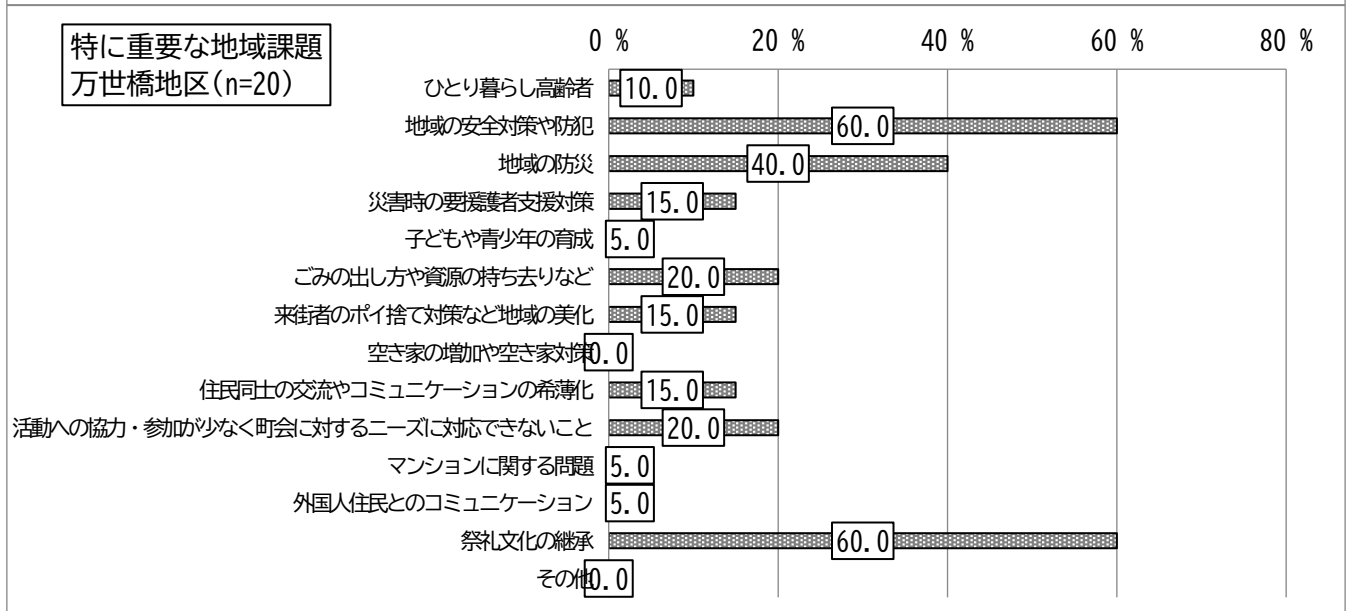
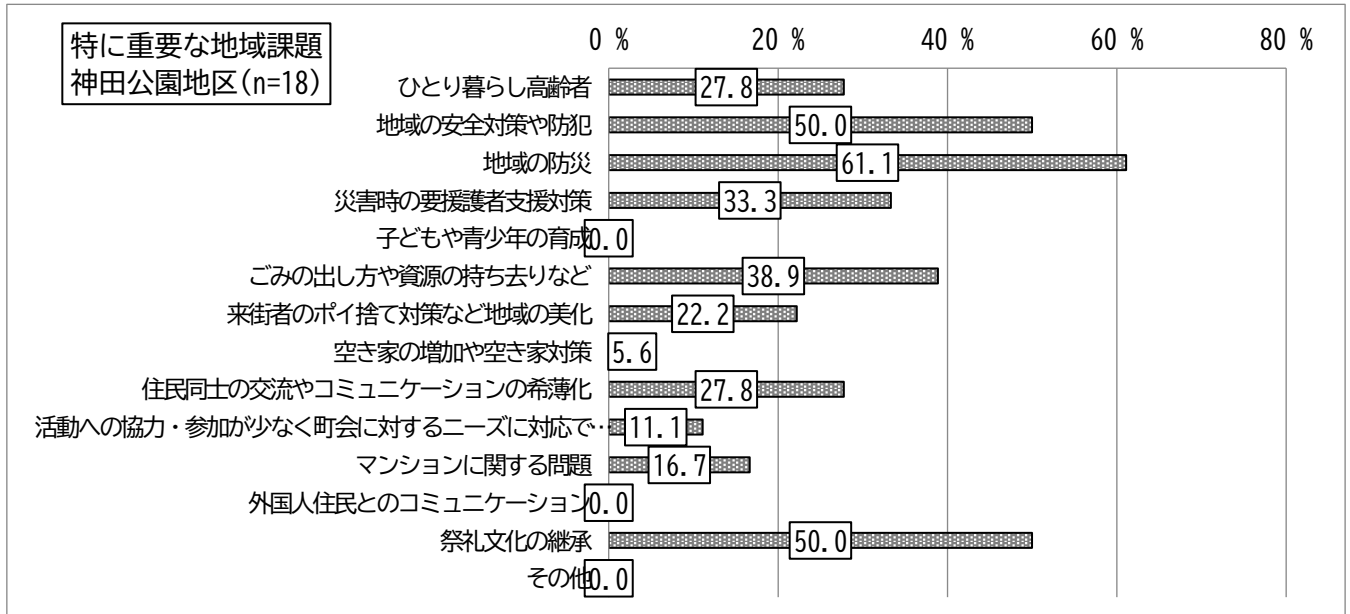
「地域の安全対策や防犯」（51.0%）、「祭礼文化の継承」（51.0%）が5割超えと最も高く、次いで「地域の防災」（42.0%）、「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」（27.0%）、「災害時の要援護者支援対策」（25.0%）と続いている。

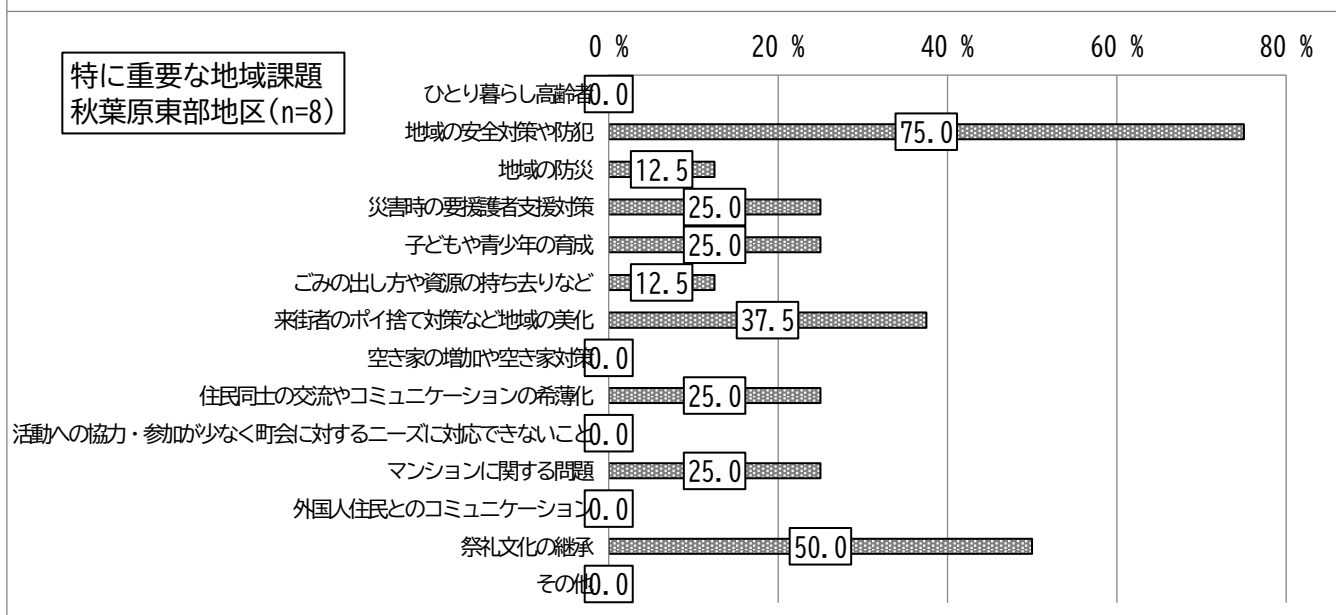
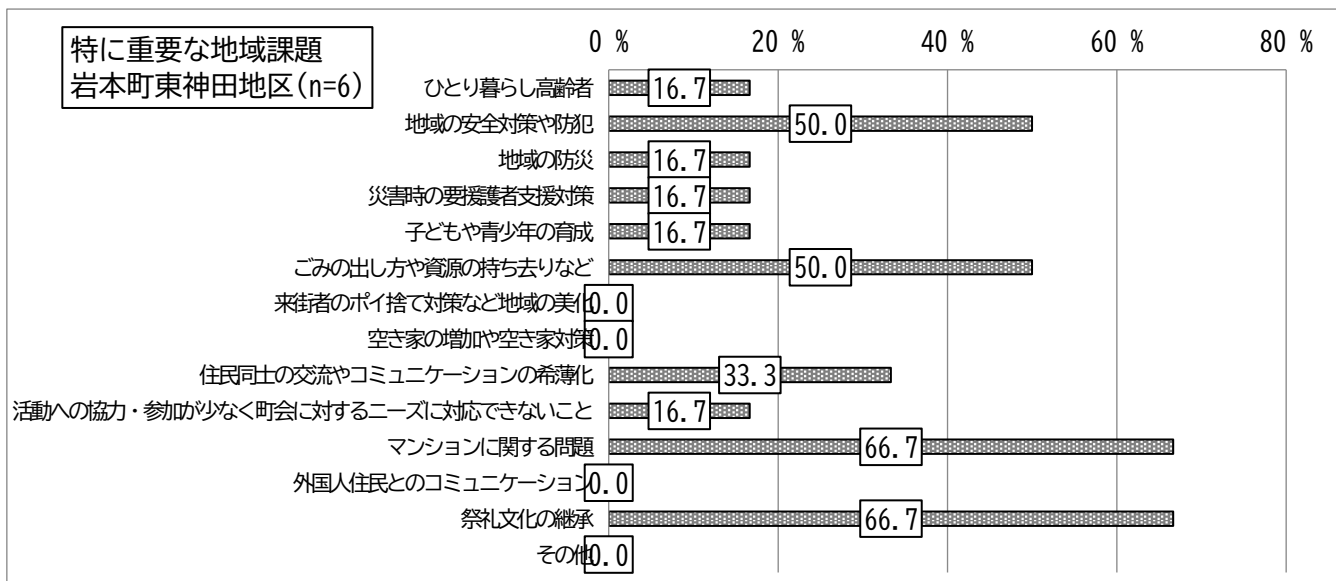
●現在、町会においてあなたが考える、特に重要な地域課題はどのようなことですか。特に重要だと思ふものを3つまで選んでください。（○は3つまで）



【参考】 地区ごとの集計結果



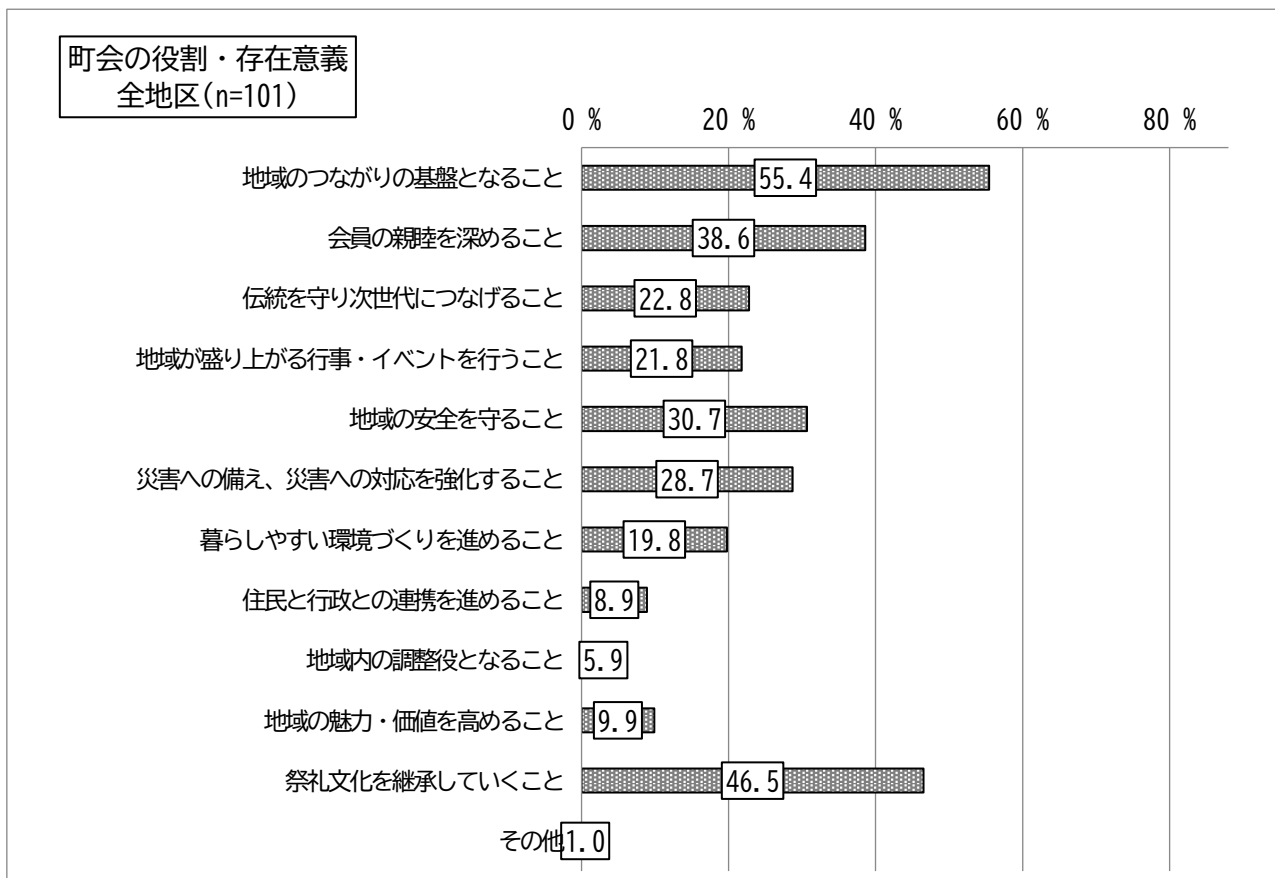




17 町会の役割・存在意義について（問 31）

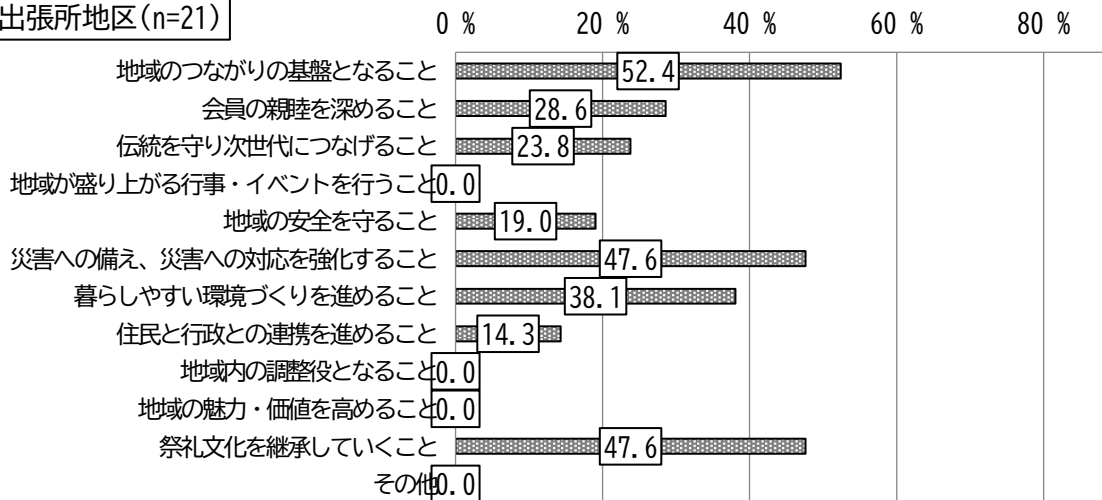
「地域のつながりの基盤となること」（55.4%）が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「祭礼文化を継承していくこと」（46.5%）、「会員の親睦を深めること」（38.6%）となっている。

●町会の役割、存在意義として大切なことは何だとお考えですか。特に大切だとお考えのことを3つまで選んでください。（○は3つまで）

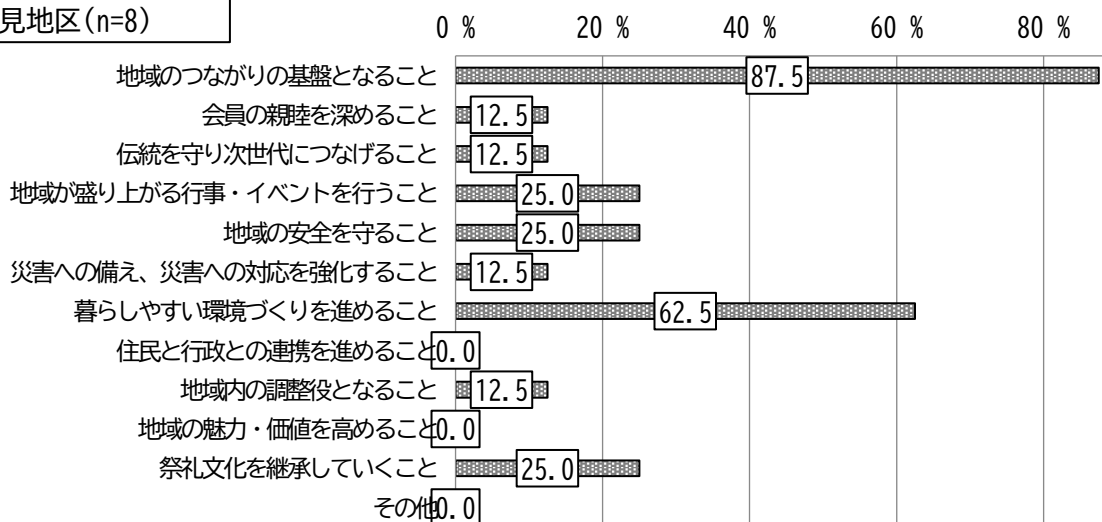


【参考】 地区ごとの集計結果

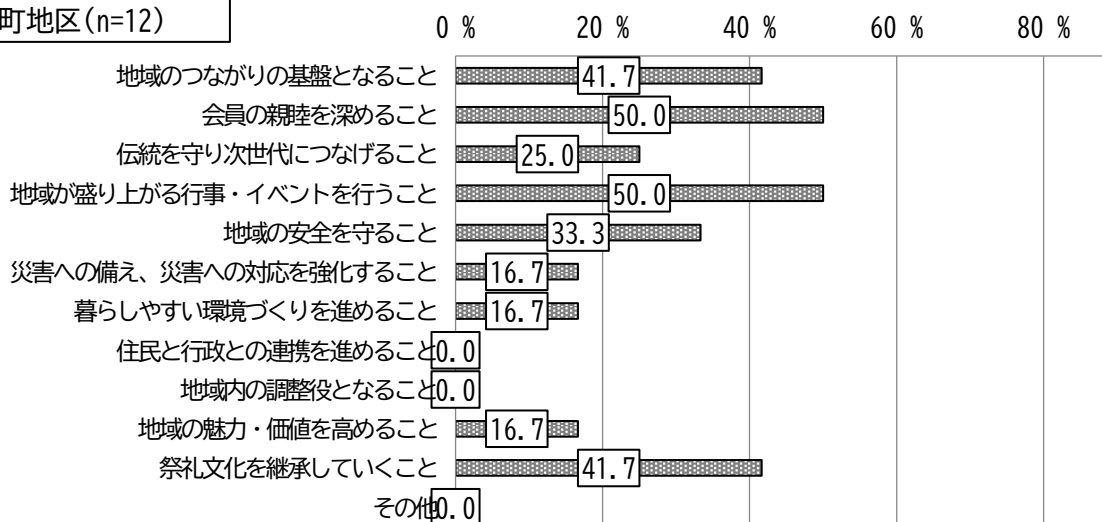
町会の役割・存在意義
麴町出張所地区 (n=21)



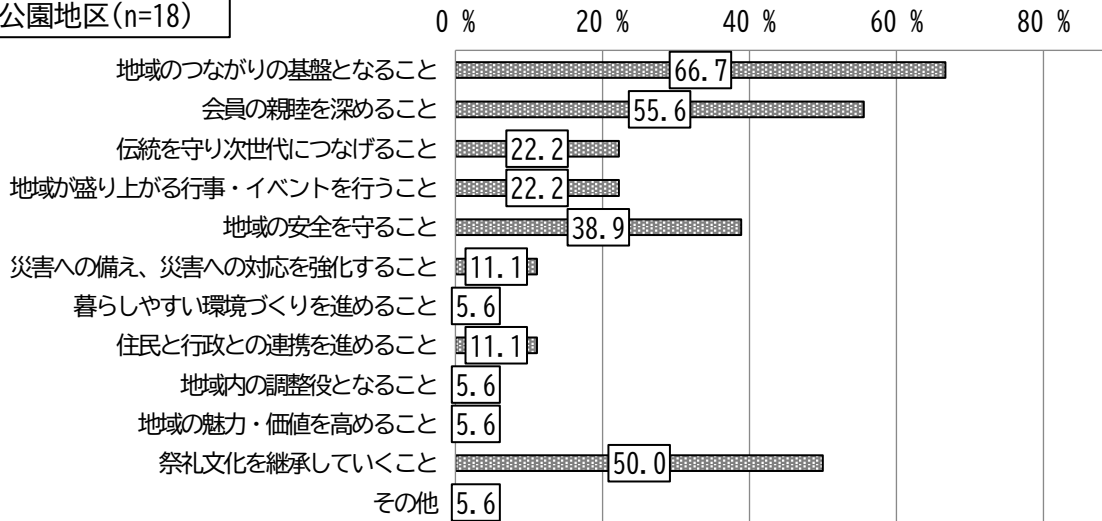
町会の役割・存在意義
富士見地区 (n=8)



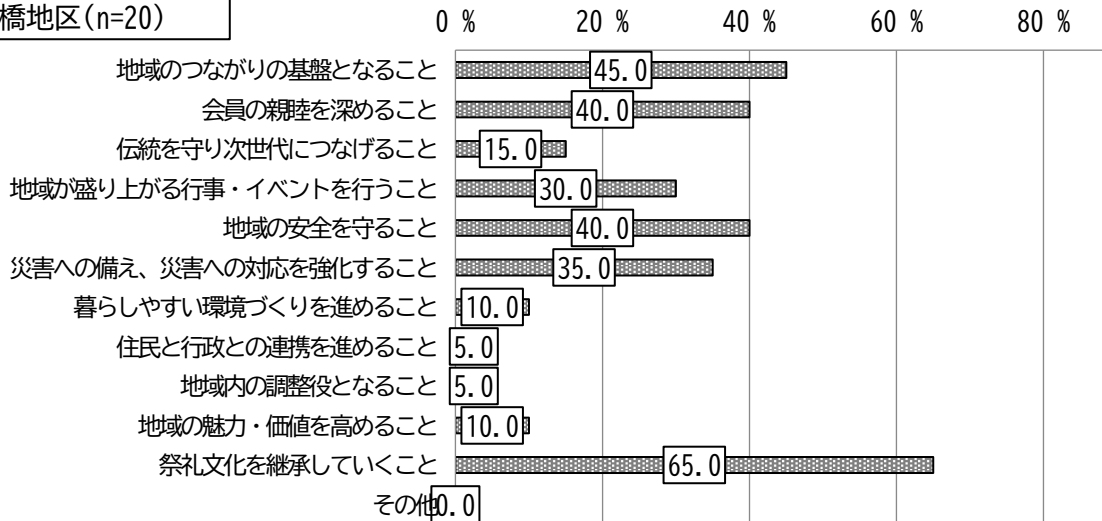
町会の役割・存在意義
神保町地区 (n=12)



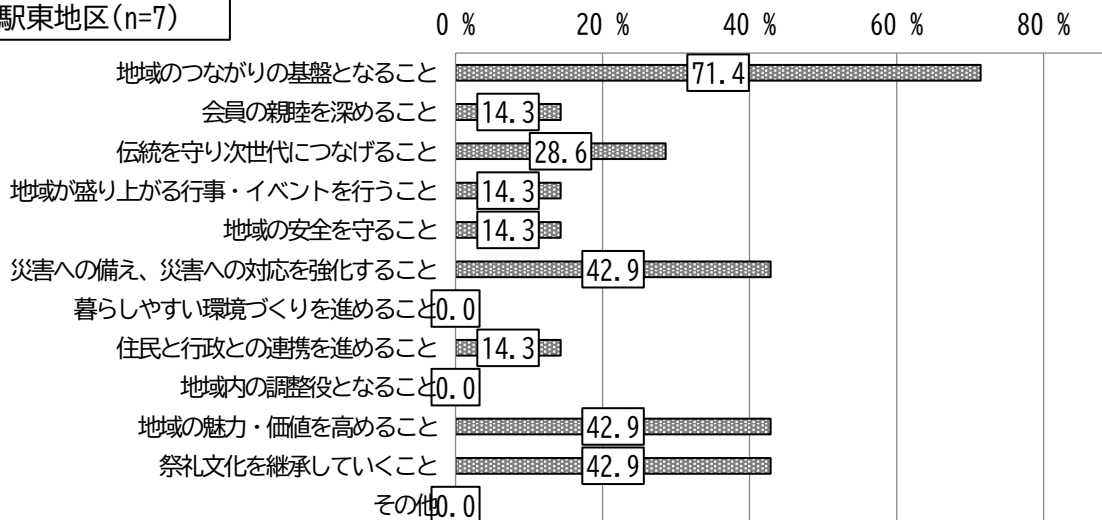
町会の役割・存在意義
神田公園地区 (n=18)



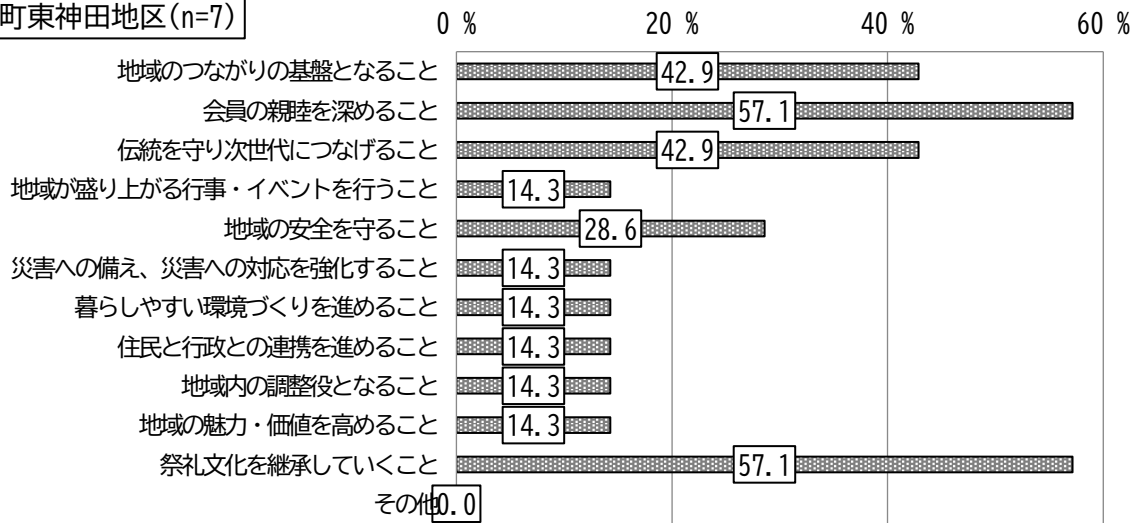
町会の役割・存在意義
万世橋地区 (n=20)



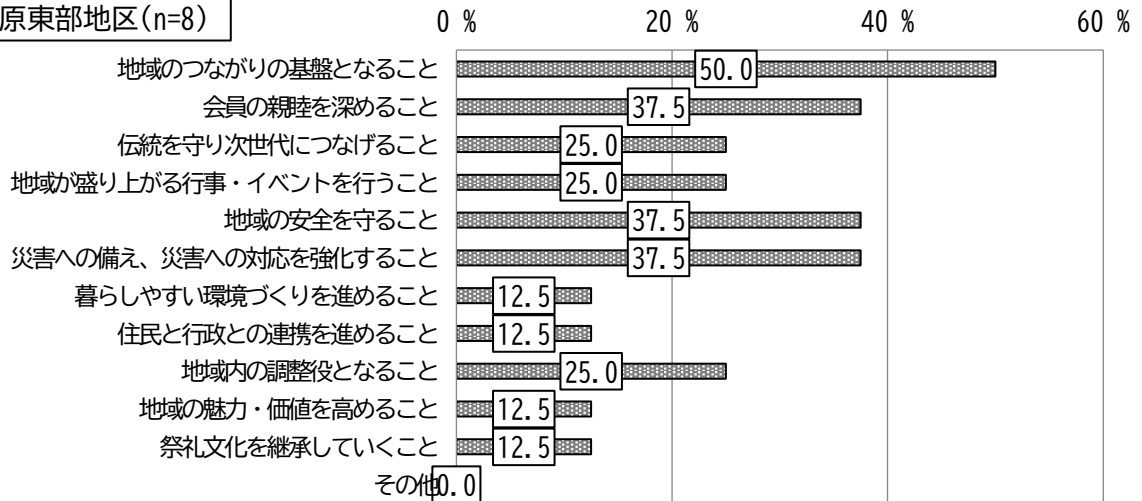
町会の役割・存在意義
神田駅東地区 (n=7)



町会の役割・存在意義
岩本町東神田地区(n=7)



町会の役割・存在意義
秋葉原東部地区(n=8)

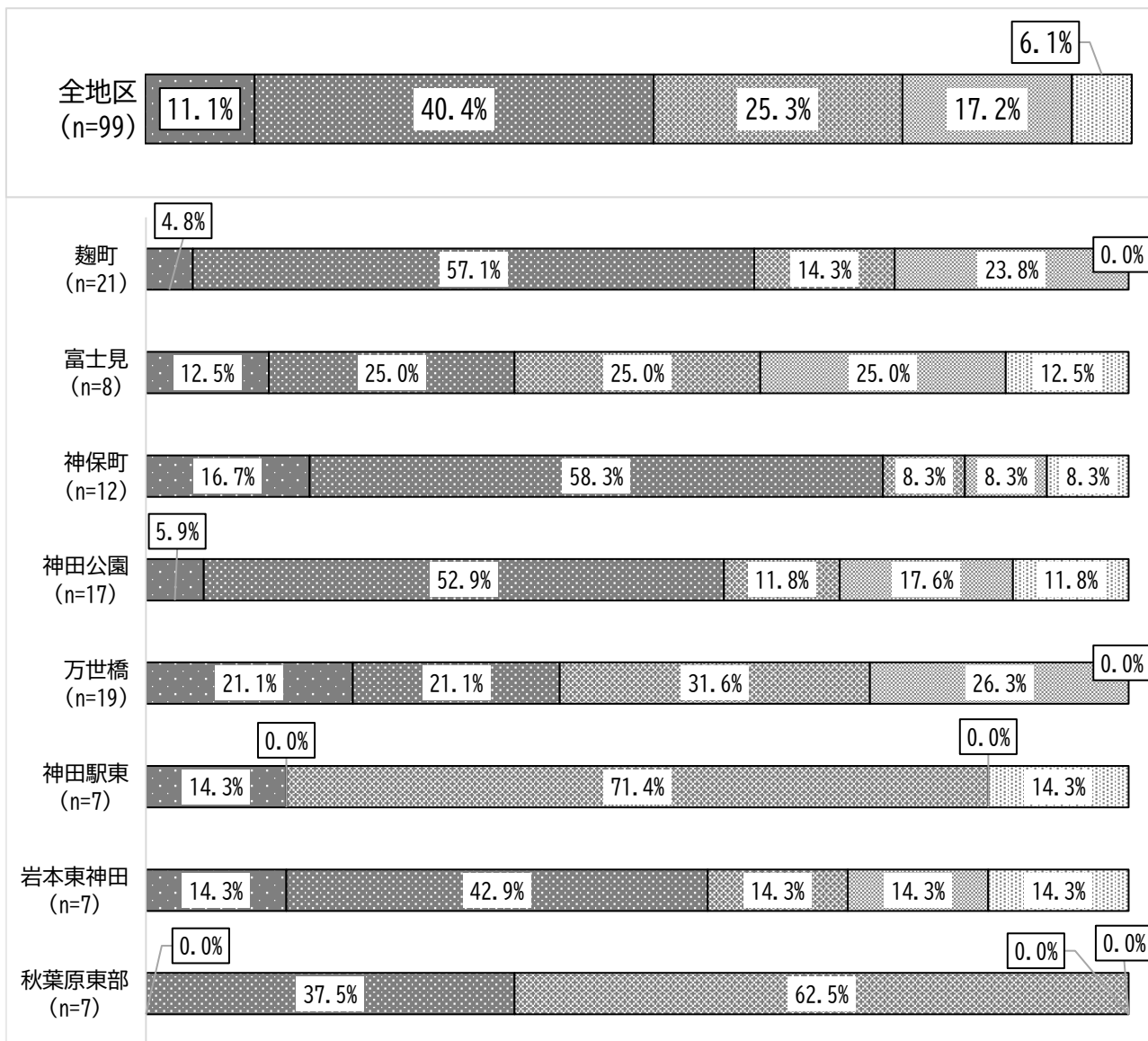


18 これからの町会について（問 33）

「町会には、新しい人の中でも共感や賛同してくれる人に参加してもらいたい。新しい人への働きかけを強化し、そうした人の参加を促し、会員数を増やしたい」（40.4%）が4割を超えと最も高く、次いで「効率化や役割分担などの運営を見直したうえで、新しい人の働きかけをしていきたい」（25.3%）となっている。

●これからの町会についてどのようにお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。（○は1つ）

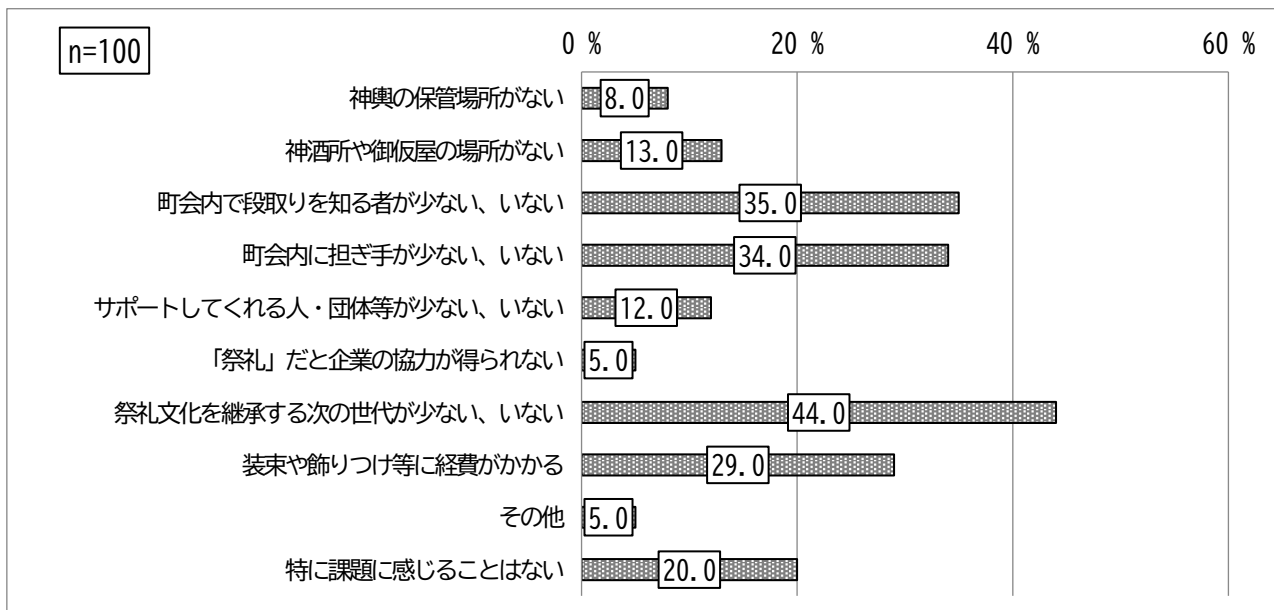
町会内地域の全員参加が理想なので、全員参加を目指し町会をより良いものになりたい	町会には、新しい人の中でも共感や賛同してくれる人に参加してもらいたい。新しい人への働きかけを強化し、そうした人の参加を促し、会員数を増やしたい	効率化や役割分担などの運営を見直したうえで、新しい人の働きかけをしていきたい	現状の中で、加入者減や現状の活動を維持できないのは仕方ないと思っている。これから縮小しながらも、なるべく運営が持続できるようにしたい	現状の中で、加入者減や現状維持できずに、このまま町会活動が縮小していくのもいたしかたない
---	---	--	--	--



19 祭礼文化継承の課題について（問 34）

「祭礼文化を継承する次の世代が少ない、いない」（44.0%）が最も高く、次いで「町会内で段取りを知る者が少ない、いない」（35.0%）、「町会内に担ぎ手が少ない、いない」（34.0%）、「装束や飾りつけ等に経費がかかる」（29.0%）と続いている。

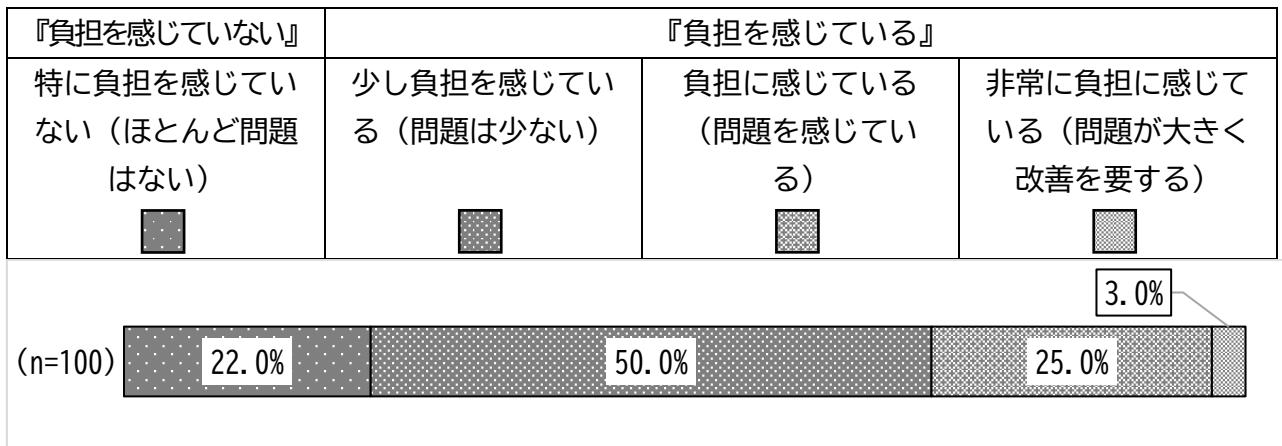
- 祭礼は地域コミュニティの求心力であり、地域コミュニティの核である町会にとっても重要ですが、祭礼文化を継承していくにあたり、課題となっていることは何ですか。特に課題に感じるものを3つまでお選びください。（○は3つまで）



20 行政からの依頼の負担感について（問 37）

「少し負担を感じている（問題は少ない）」と「負担を感じている（問題を感じている）」と「非常に負担を感じている（問題が大きく改善を要する）」を合わせた『負担を感じている』(78.0%)は7割台半ばを超えてであった。一方で、「特に負担を感じていない（ほとんど問題はない）」(22.0%)となっている。

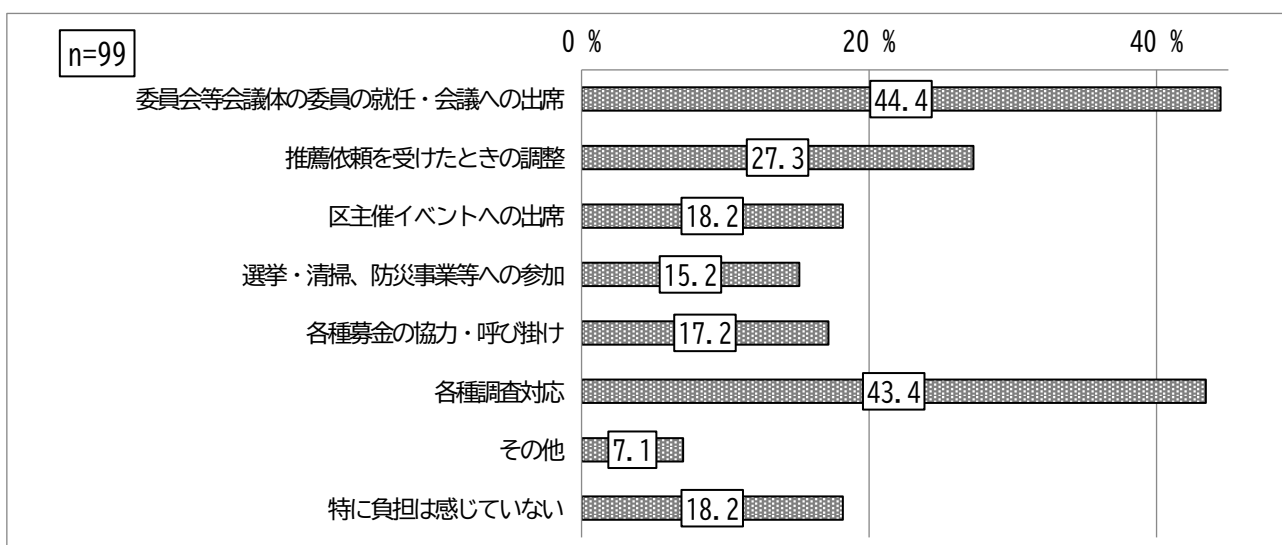
●町会には行政（区、国、都、その他警察や消防など）からさまざまな仕事や役割をお願いしています。これらについて、どの程度負担に感じておられますか。（○は1つ）



21 行政からの依頼で負担感の大きいものについて（問 38）

「委員会等会議体の委員の就任・会議への出席」(44.4%)が最も高く、次いで「各種調査回答」(43.4%)、「推薦依頼を受けたときの調整」(27.3%)となっている。

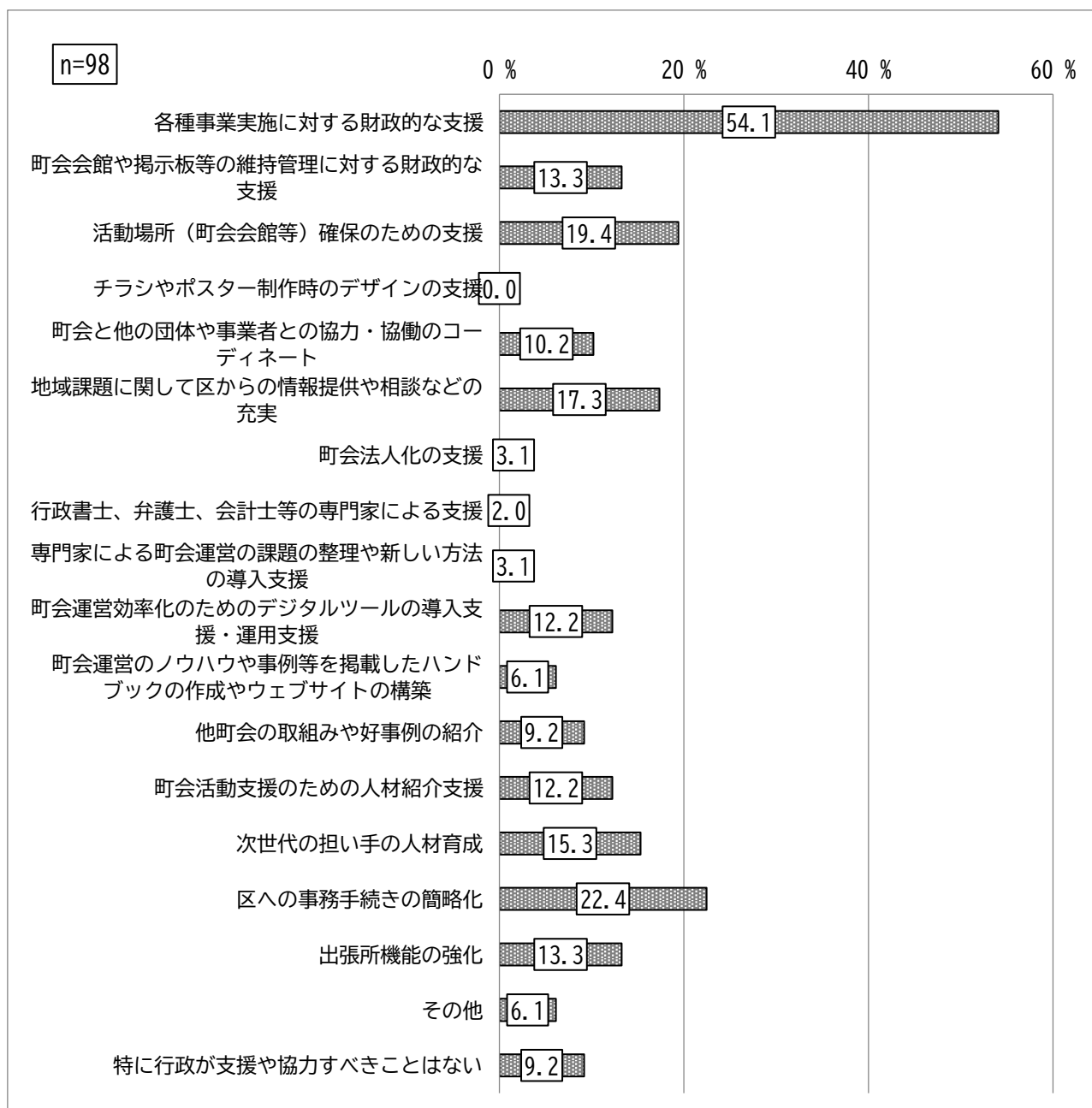
●行政から依頼される仕事・役割のうち、特に負担が大きく、仕事量の軽減や実施方法を改善すべきだと思うものは何ですか。特に負担が大きいとお感じになるものを3つまで記入してください。（○は3つまで）



22 町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について（問 39）

「各種事業実施に対する財政的な支援」（54.1%）が5割台半ば近くと最も高く、次いで「区への事務手続きの簡略化」（22.4%）、「活動場所（町会会館等）確保のための支援」（19.4%）、「地域課題に関して区からの情報提供や相談などの充実」（17.3%）となっている。

●町会の活動や運営に対して行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。特に重要だと思うものを3つまでお選びください。（○は3つまで）



23 町会加入促進について行政がすべき支援や協力について（問 40）

「一定規模以上のマンション開発に対し、事前に町会加入等について協議をすることのルール化」（52.7%）が5割強と最も高く、次いで「区の広報などによる町会参加の機運の醸成」（40.9%）、「町会への加入や活動参加を促進するための財政的な支援」（34.4%）の順になっている。

●町会加入の促進について行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。特に重要だと思うものを3つまでお選びください。（○は3つまで）

